



稲刈の舞



磐戸開きの舞



ひるこ
蛭子の舞

大和田磐戸神楽

4月2日、鷲神社(大和田)で茨城県指定無形民俗文化財の磐戸神楽が奉納されました。

磐戸神楽は、五穀豊穡と家内安全を願い、近隣の神官たちが中心となり鷲宮神社(埼玉県久喜市)で神楽を習得し、地域の神前で奉納されたことだと伝えられています。

その後、神官での継承が難しくなり大和田に住む人たちによって、約260年もの間伝承されてきた神事です。

日本神話に基づく国づくりから天照大神の復活までの12座で表現されています。白狐による種蒔きや五穀を司る神による稲刈りなど地域の繁栄を祈願する舞も含まれ、約4時間の演舞となります。

伝統を絶やすことなく継承する地域の人たちの思いと情熱を感じることができました。

さくらまつり

3月25日から4月2日まで、ネーブルパークふれあい広場で「第4回古河さくらまつり」が開催されました。土曜日・日曜日にはキャラクターショーやダンスショーなどのステージイベントが催され、まつり期間中は約3万人が来園。

今年の開花は例年より少し遅れ、期間中には満開の桜は見られませんでした。キャラクターと一緒に記念撮影したり、家族でお弁当を食べたりと、さくらまつりを満喫する来園者などで盛り上がりました。

桜が満開になった4月7日・8日には多くの花見客が訪れ、園内に植樹された約500本のソメイヨシノなどを写真撮影する人でにぎわいました。

